

新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

対象期間 11月23日～11月29日

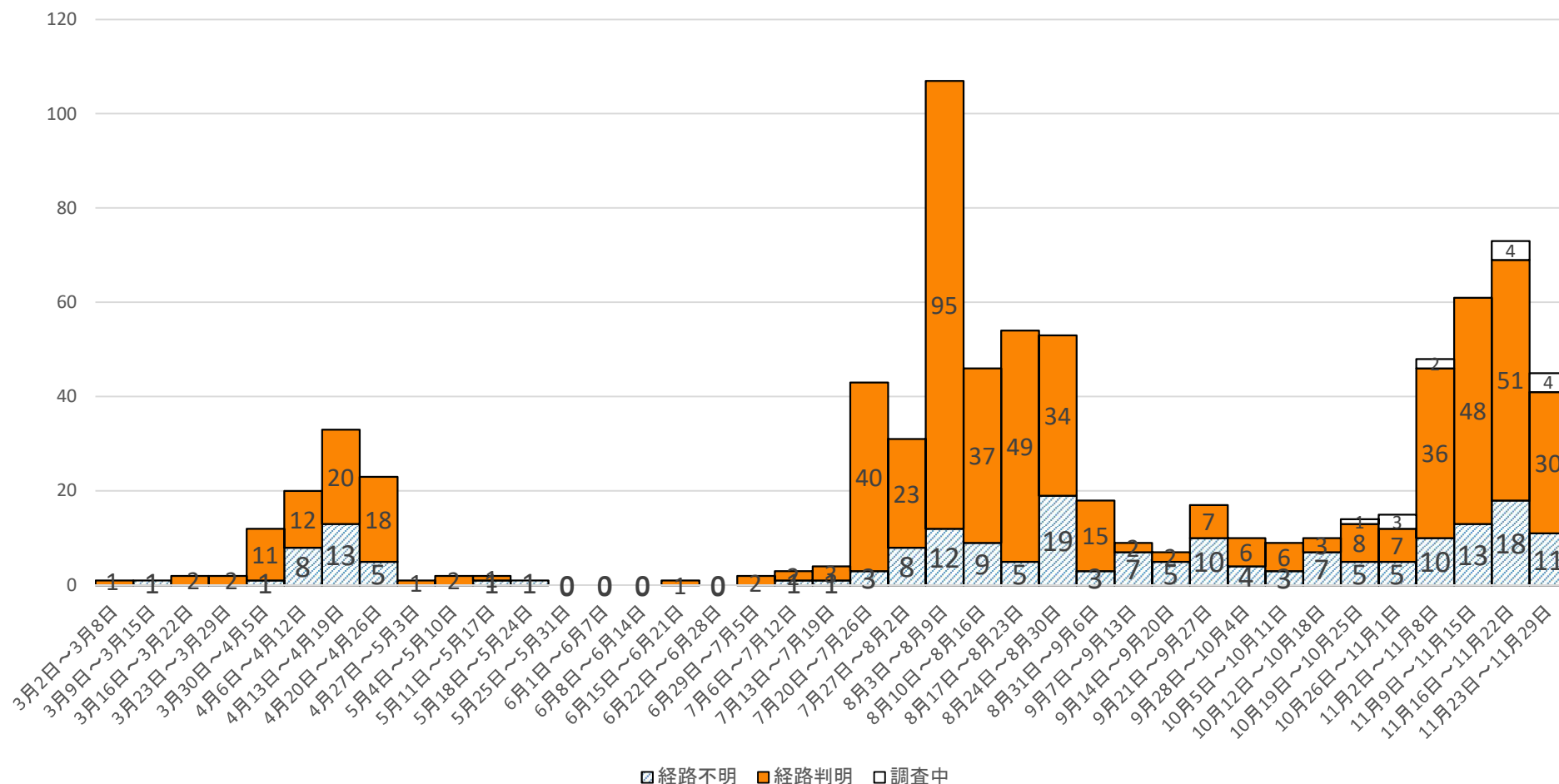
12月 1 日 健康医療福祉部医療政策課感染症対策室

県内の感染動向について（11/29現在）

1) ①流行曲線（公表日別）

新型コロナウイルス感染症の流行曲線（公表日別）

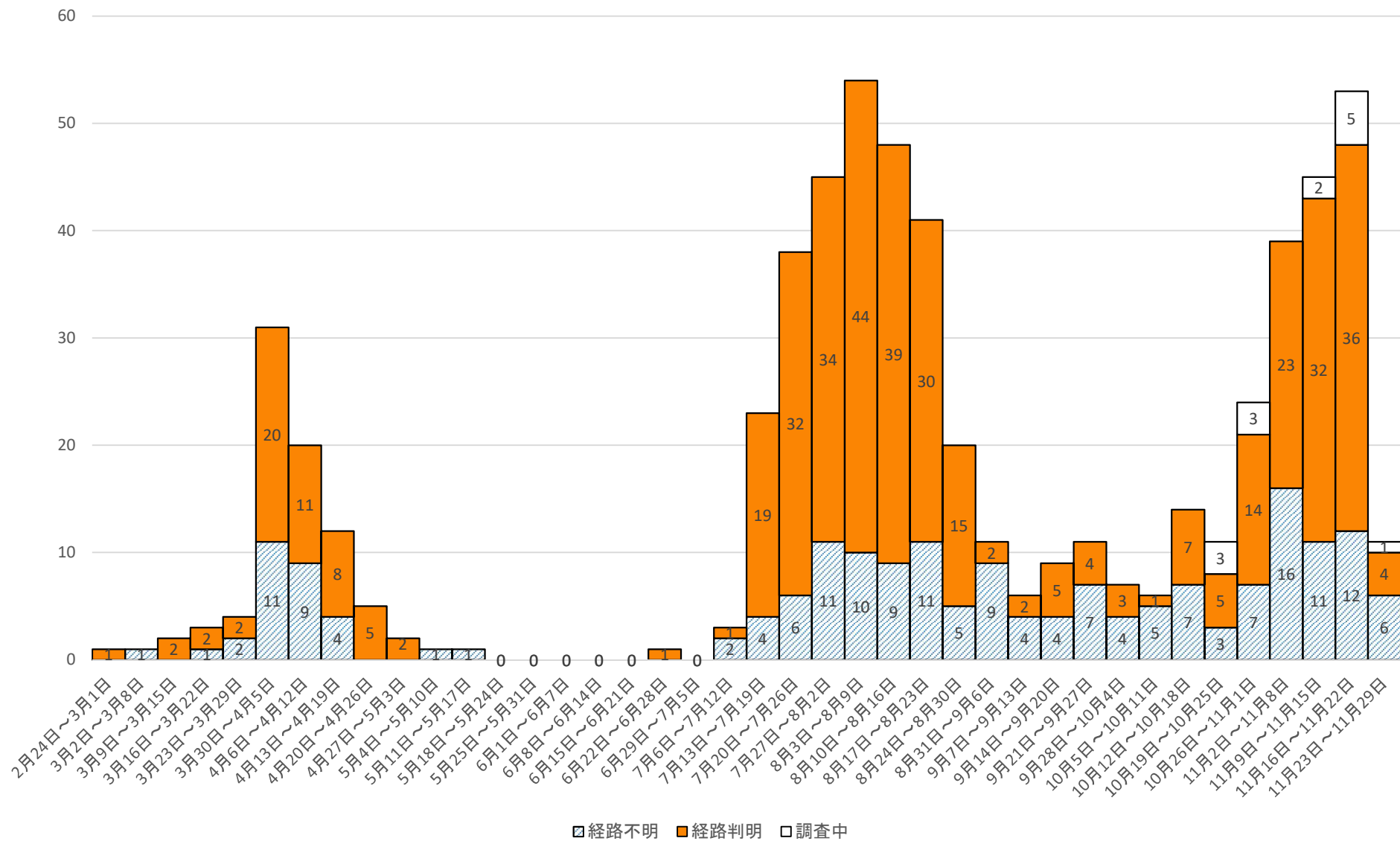
11/29 17:30時点（週ベース）



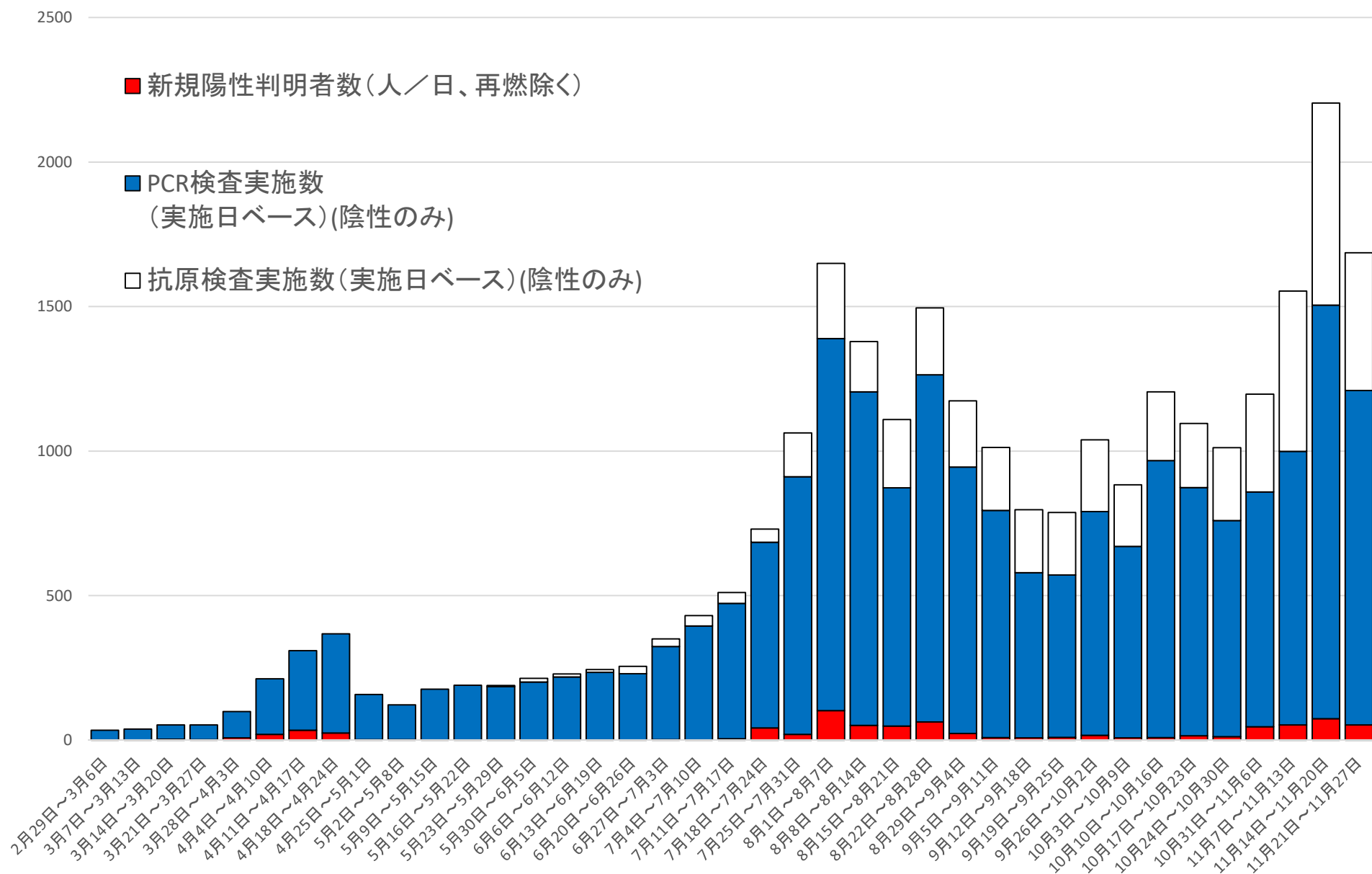
流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

1) ②流行曲線（発症日別）（11月29現在）

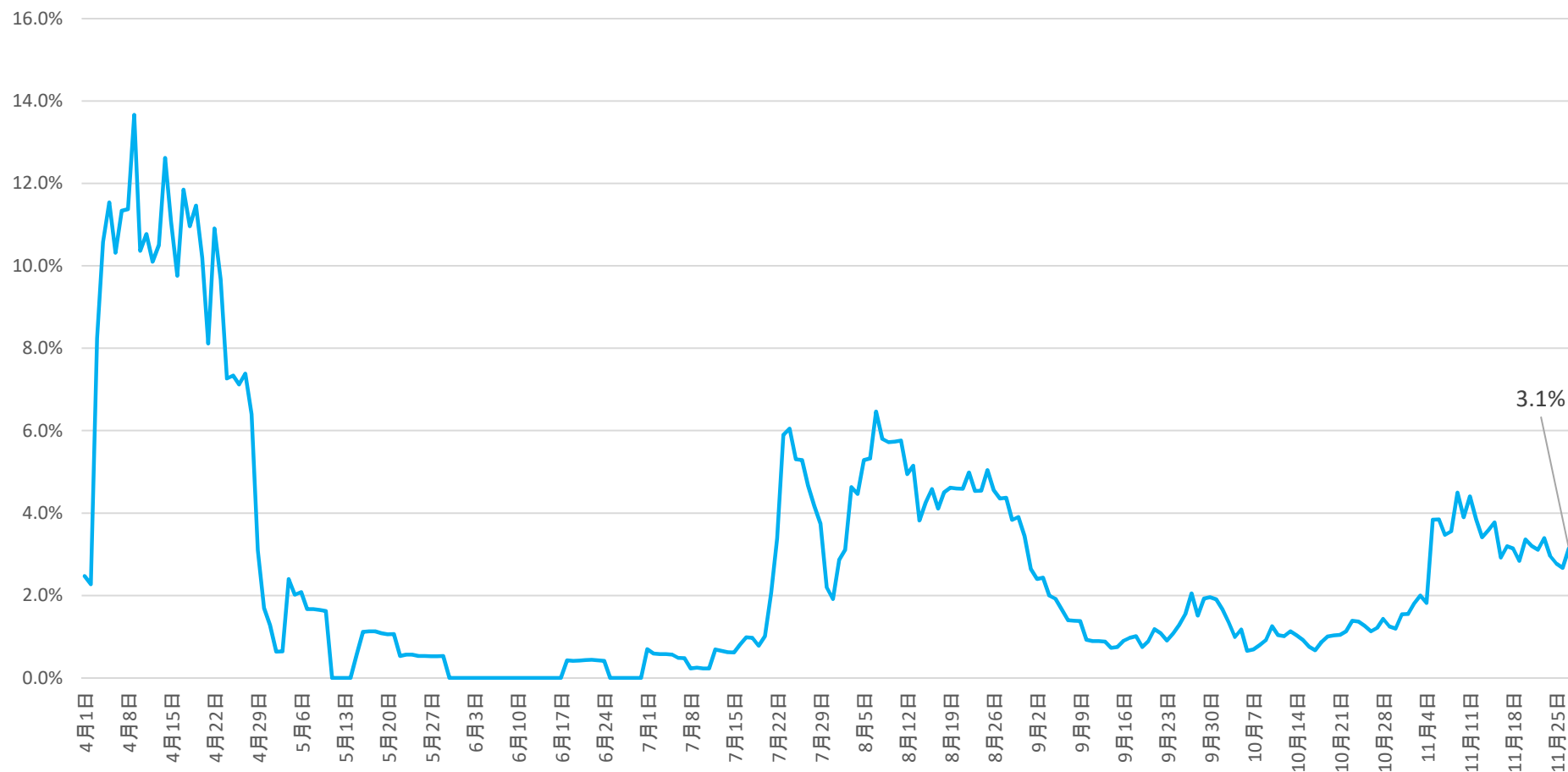
新型コロナウイルス感染症の流行曲線（発症日別）
（無症状者は除く）11/29 17:30現在（週ベース）



2) PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



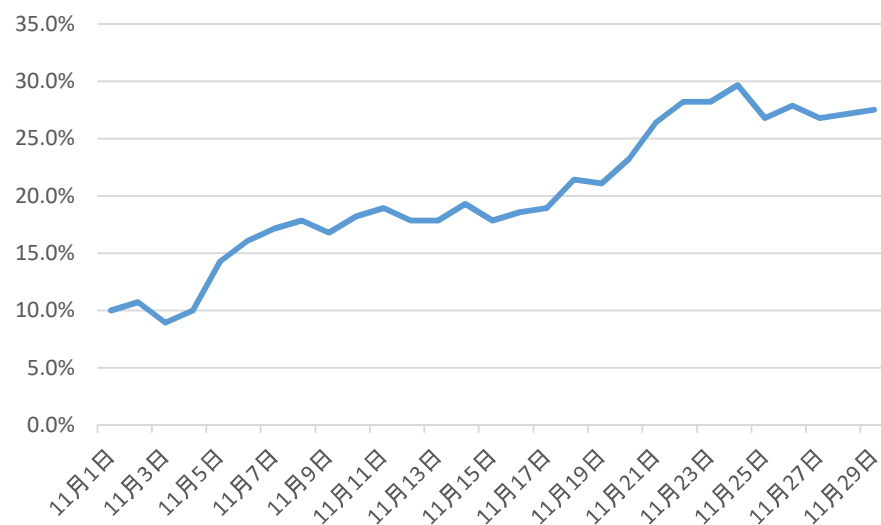
3) 陽性率（7日間移動平均）



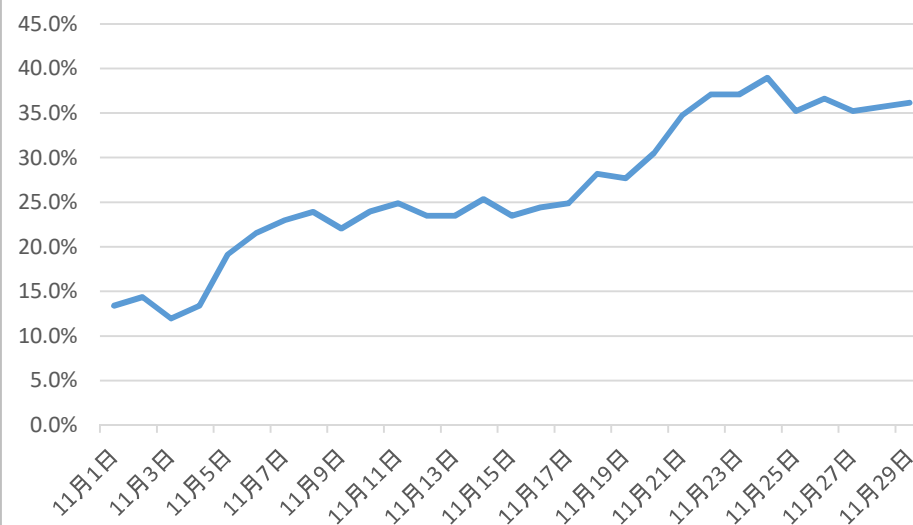
- 陽性率の7日間の移動平均（その日までの7日間の平均）を見ると、11月27日現在の陽性率は3.1%でした。

4) その他県内の感染動向

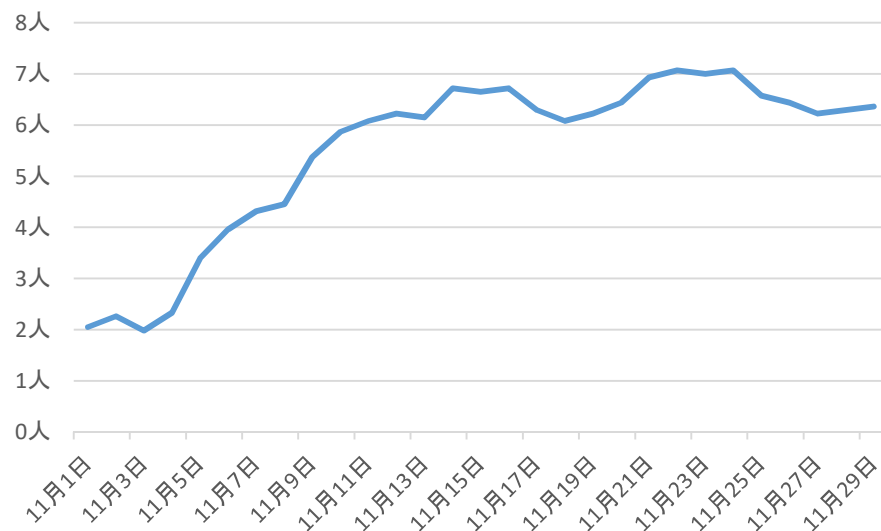
最大確保病床(280床)の占有率



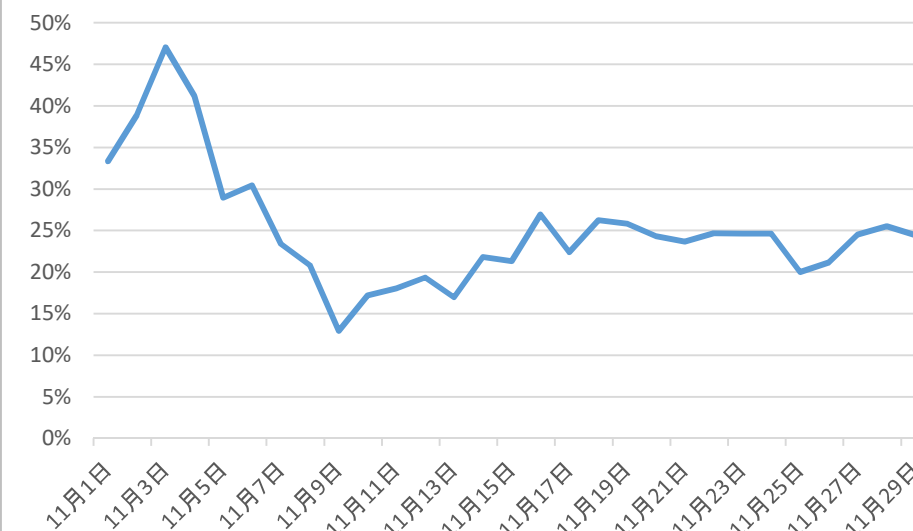
現時点の確保病床数の占有率



人口10万人当たりの全療養者数



感染経路不明割合



県内の感染状況について（11/23～11/29）

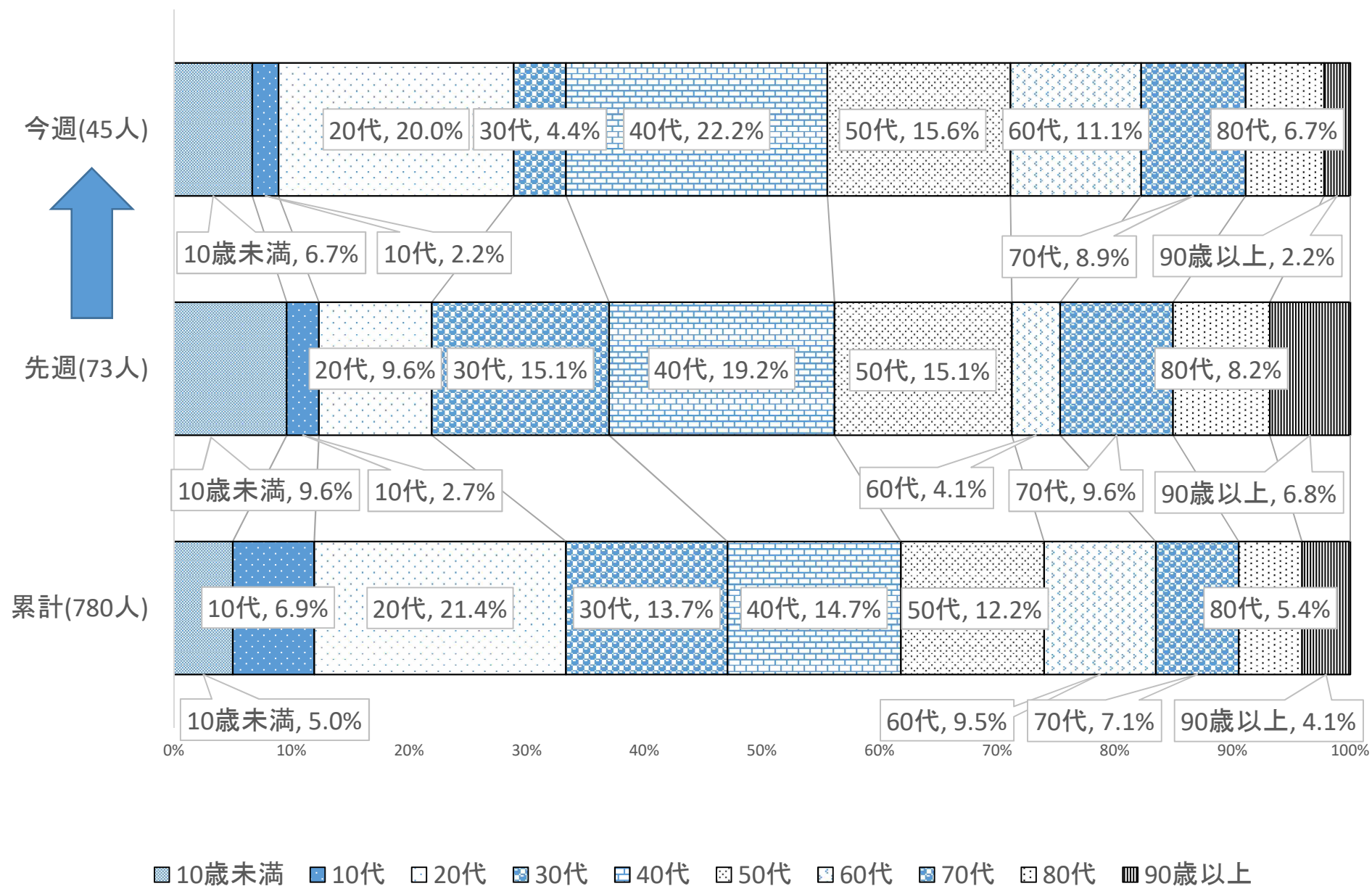
1) 県内の陽性者発生状況(11/23～11/29)

	新規感染者数
今週の報告数	45人 (11/23～11/29)
直近 1 週間と先週 1 週間の比較	少ない (11/16～11/22 73人)

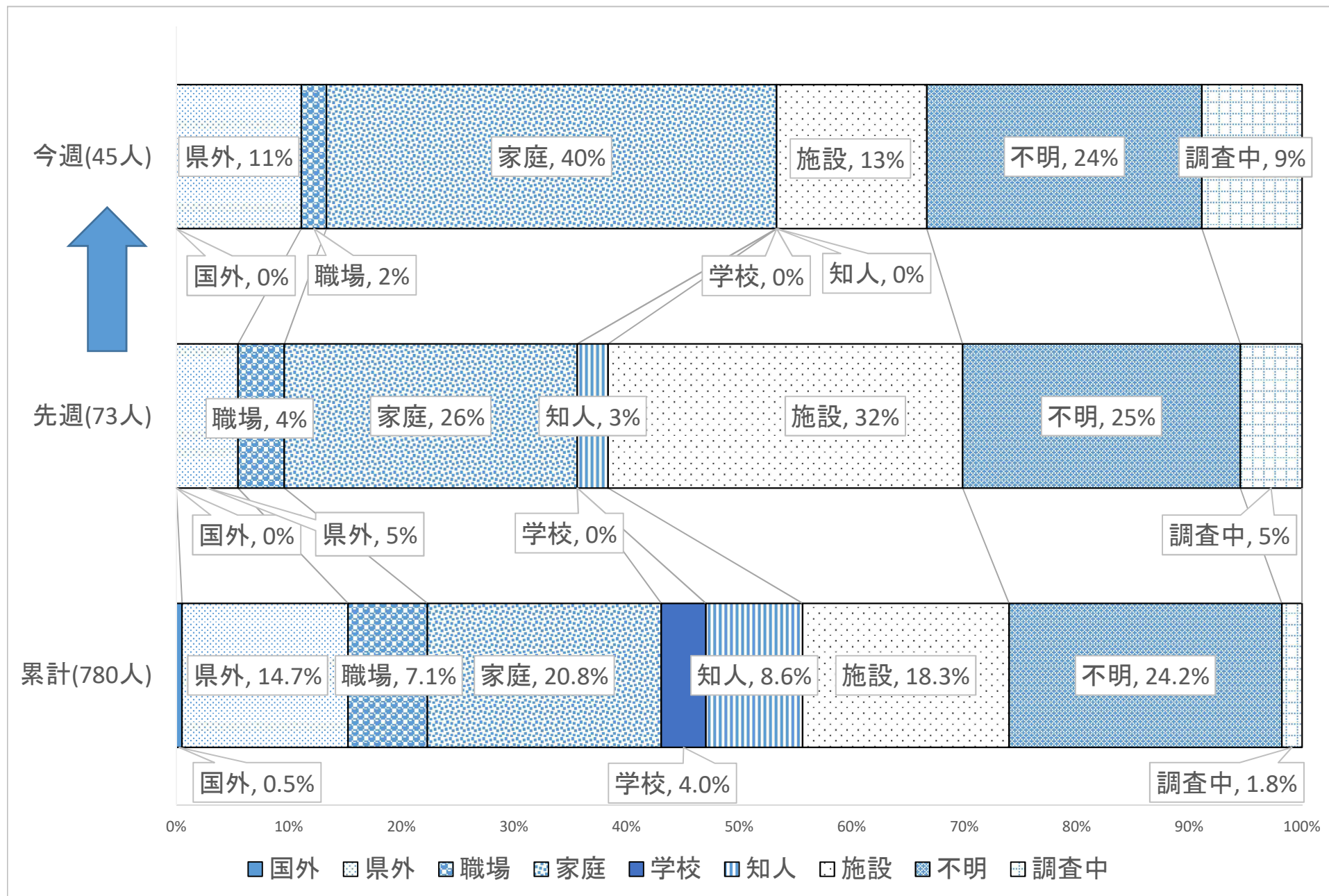
2) 市町別の陽性者発生状況(11/23～11/29)

大津市	草津市	守山市	栗東市	野洲市	甲賀市	湖南市	東近江市	近江八幡市	日野町
9	4	7	1	0	3	0	0	6	3
竜王町	彦根市	愛荘町	豊郷町	甲良町	多賀町	米原市	長浜市	高島市	県外等
0	4	1	3	0	0	0	1	1	2

3) 先週と今週の年代別陽性者率



4) 先週と今週の感染経路別陽性者率



県内の感染状況について（11/29現在）

1）県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内 病床数					県内 宿泊療養 部屋数				
		入院者数			空床数		療養者数			空数
			県内発生	その他				県内発生	その他	
総数	213	77	67	10	136	271	11	11	0	260

2）県内の陽性者発生状況

項 目		陽性者数累計	現在 陽性者数					入院 予定	宿泊 療養	退院等	死亡
				入院中	重症	中等症	軽症				
PCR検査数	21,913	780	82	67	1	13	53	2	13	689	9
（うち行政検査分	8,580）										
（うちその他検査分	13,333）										
抗原検査数	5,530										

重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺)が必要

中等症：酸素投与が必要または摂食不可能

軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

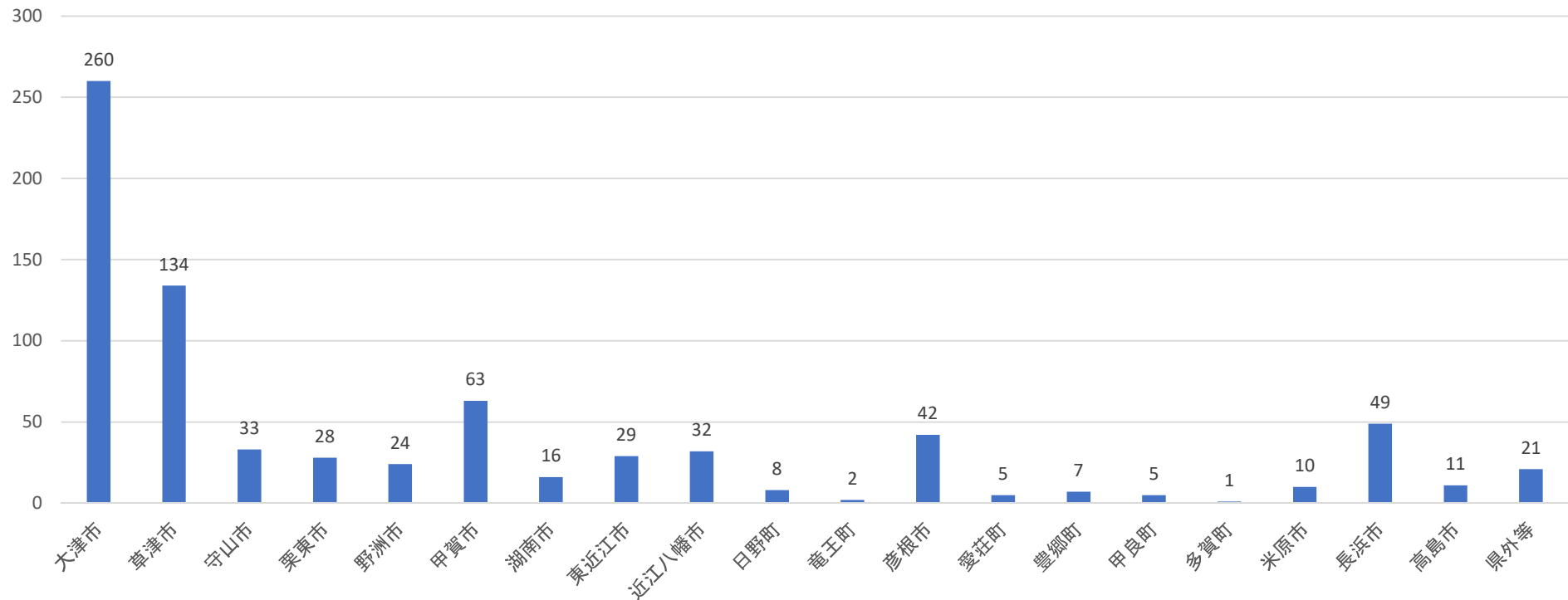
重症者以外のICU(集中治療室)利用者数

1人

3) 性別陽性者数

性 別	陽性患者数
男 性	385
女 性	356
非公表(10歳未満)	39
計	780

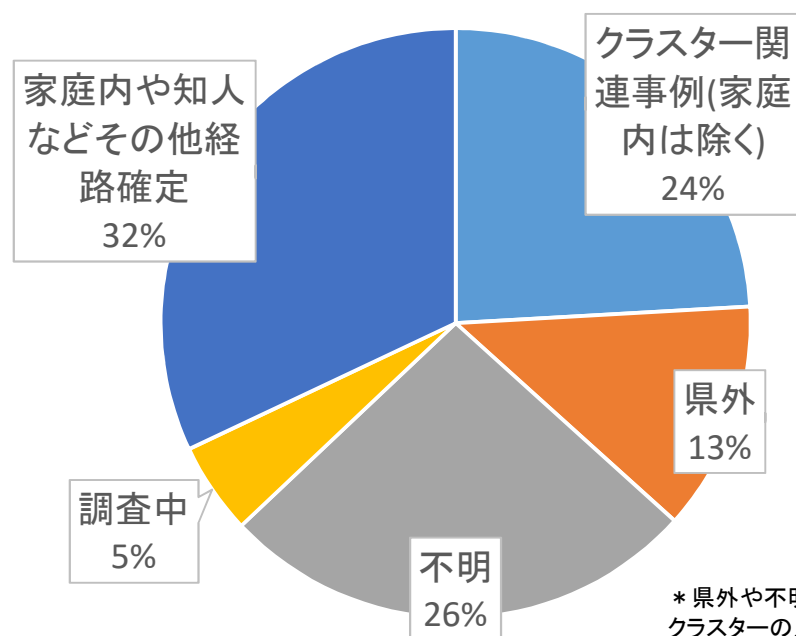
4) 市町別陽性者数



5) 10月以降に発生したクラスターの状況

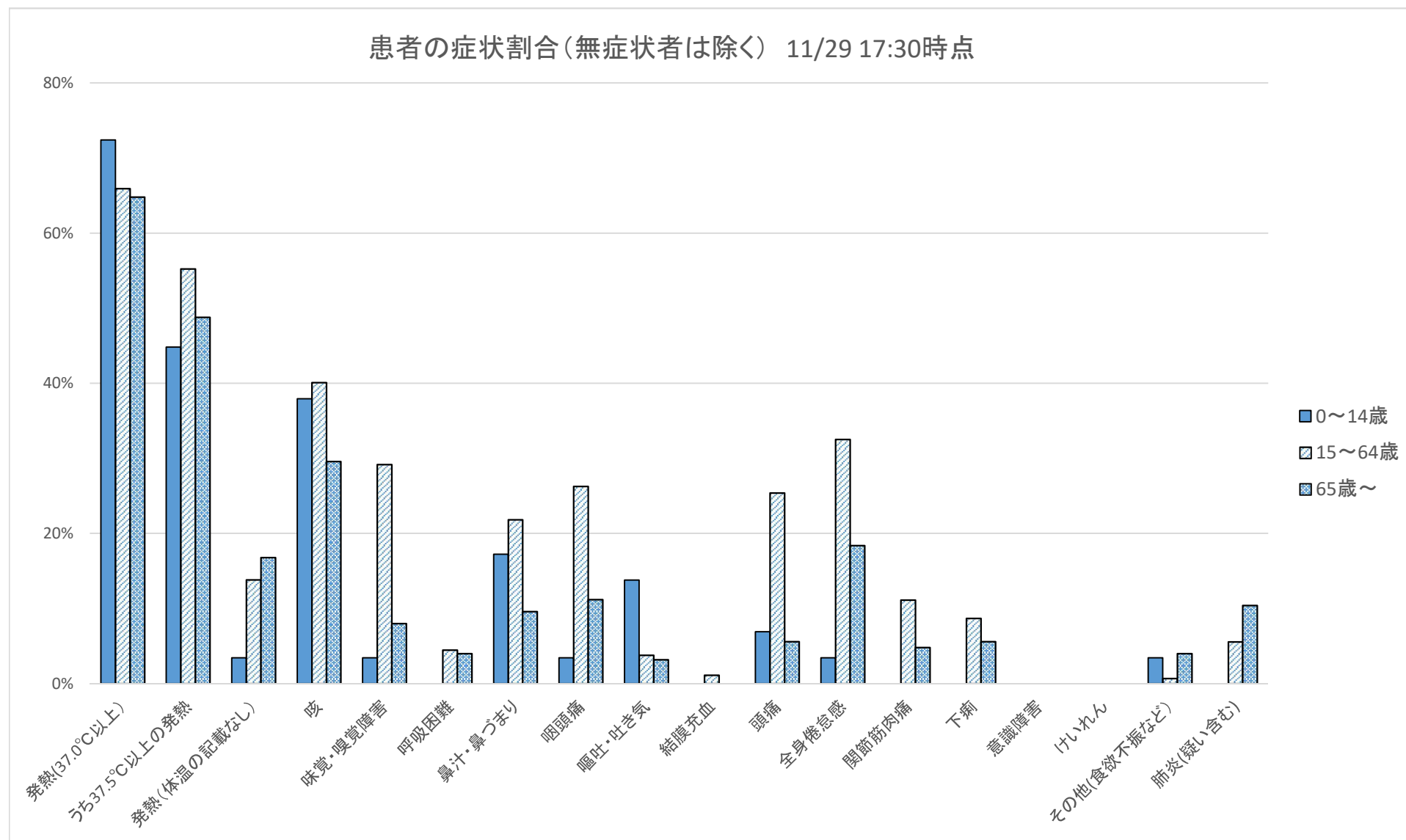
クラスター名	陽性者数	検査件数	初めて感染者が確認された日	関連する感染者が確認された最終日
会食②	11	40	11月3日	11月7日
学校	19	136	11月7日	11月12日
医療機関②	20	499	11月14日	調査中
医療機関③	11	122	11月12日	調査中
保育関連施設	6	48	11月18日	11月20日

10月以降の感染者(計278件)に占めるクラスター等の割合



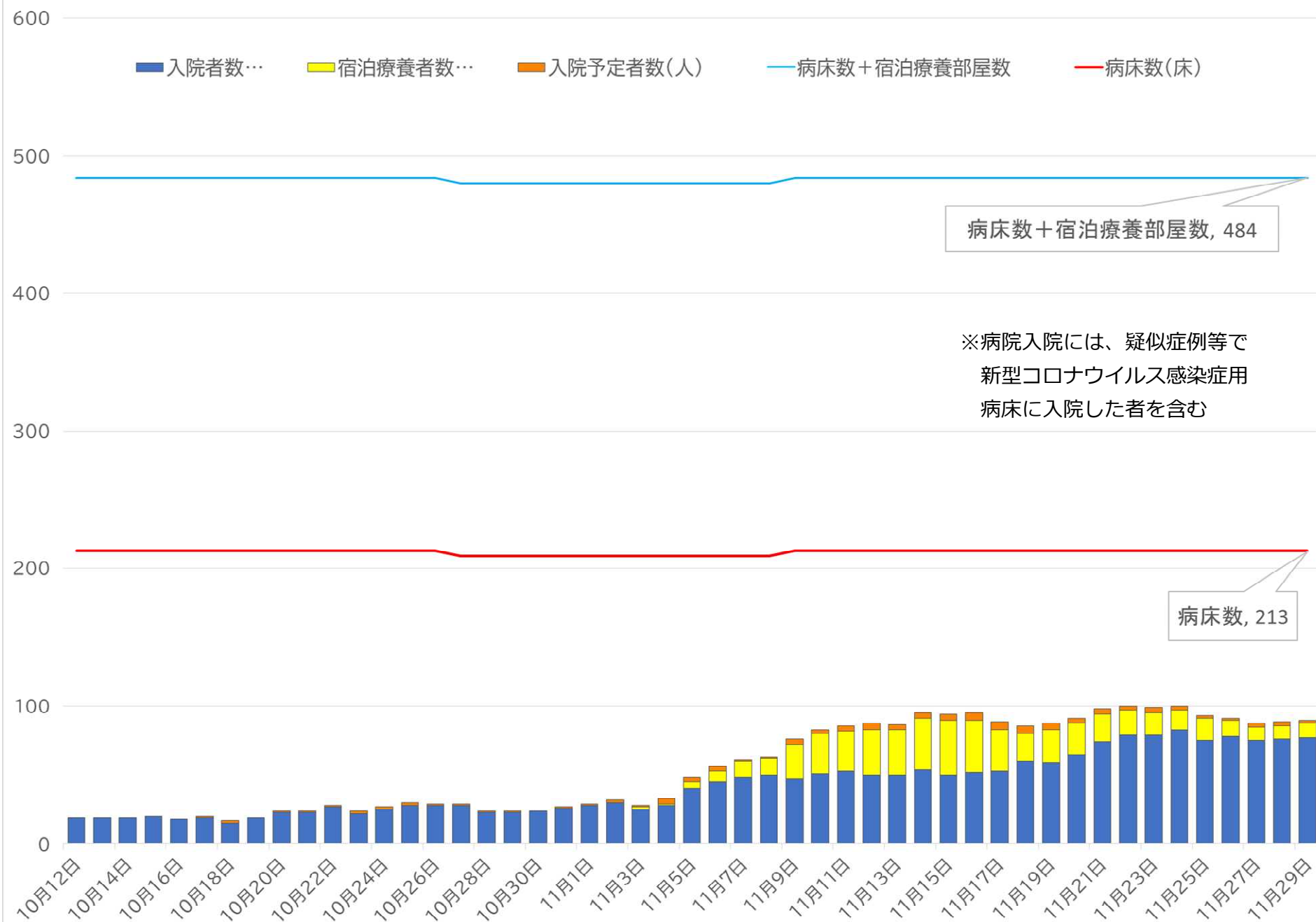
県内における10月以降のクラスター関連の陽性者は合計67名で、10月以降の全陽性数の24%を占めています。医療機関をはじめ、複数の施設等でクラスターが確認されております。

6) 届出時の有症状者の症状（年齢群別）



症状の有無は、滋賀県内の発生届や調査票に記載されている情報を集計したものです。

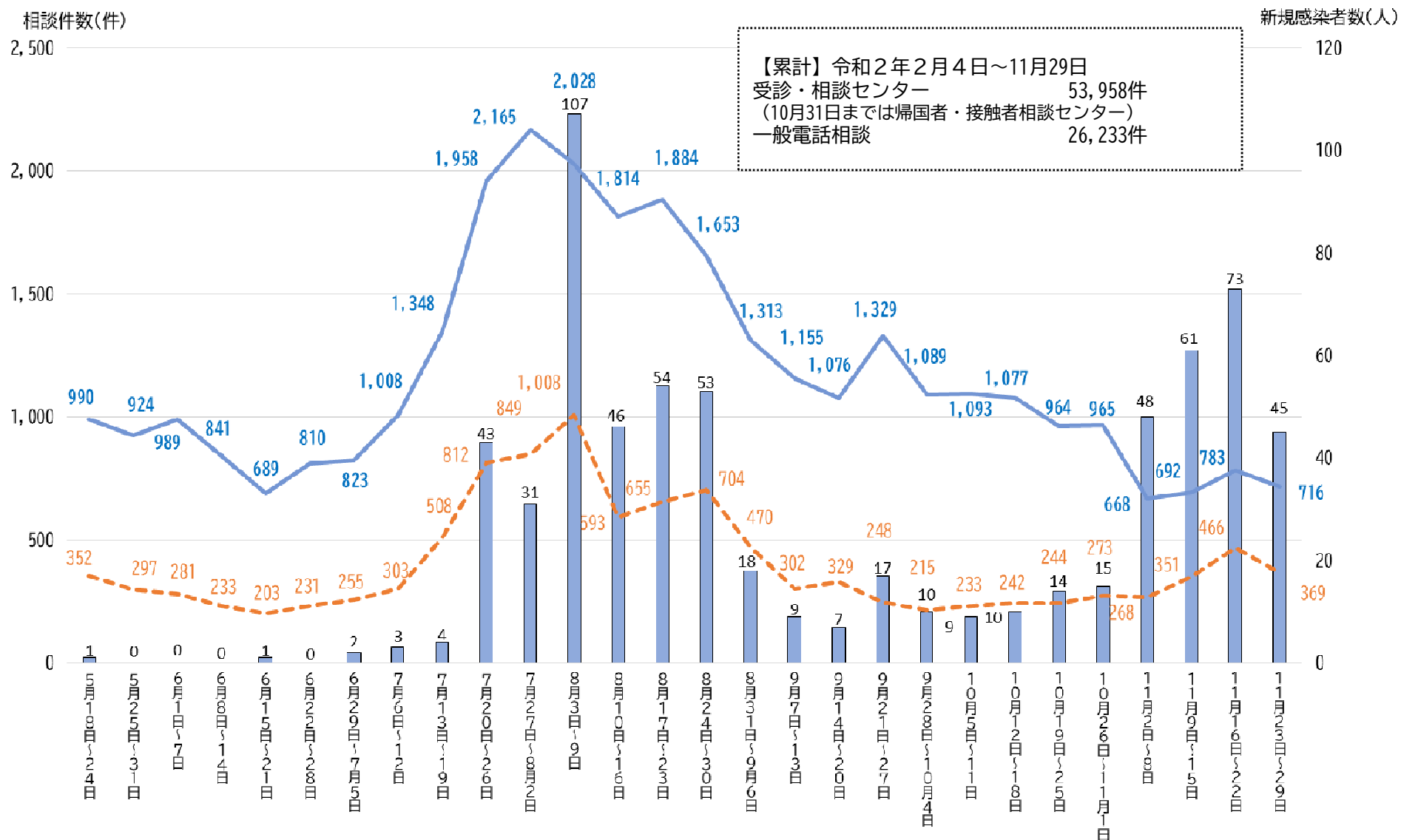
入院医療体制について



相談体制について

相談件数と新規感染者数（週計）

■ 新規感染者数 — 受診・相談センター - - - 一般電話相談



評価（11/23～11/29の感染状況）

- 公表日ベースの週当たり新規感染者数は10月第1週（10月5-11日）以降、初めて減少しました。現在のところ、11月の3連休の大きな影響は現れていません。しかし、依然多くの感染者が報告されています。
- 新規感染者数は、北海道、首都圏、中部圏および関西圏の一部地域で、感染拡大のスピードが急激で、クラスターが広範に多発し、医療提供体制が既に厳しい状況になっております。政府の分科会では、短期間（3週間程度）に現在の感染状況を鎮静化するためには、政府や自治体、更に一般の人々や事業者も含め、社会全体が共通の危機感を共有し、現在の状況に一丸となって対処することが求められるとしています。（第17回新型コロナウイルス感染症対策分科会資料、2020年11月25日）
- 11月から新しい相談・受診体制になり、10月末と比較して11月第1週の受診・相談センターへの相談件数は3割減少し、かかりつけ医など身近な医療機関に直接相談している状況がうかがえます。
- 年末年始を穏やかに過ごすためにも、この3週間に集中して皆さんの行動変容が必要です。次の3つをお願いします。
 - 基本的な感染対策の徹底（手洗い、マスクの着用、3つの密の回避など）
 - 家庭では、咳エチケット、こまめな換気と加湿、定期的な消毒を実践
 - 家族以外の方と接する場面（会食、寮などの共同生活、休憩室等）では、感染リスクが高まる「5つの場面*」に注意してください。特に、グラスや箸の共用を控え、会食時であっても会話の際にはマスクを着用

*感染リスクが高まる「5つの場合」： ①飲酒を伴う懇親会等、②大人数や長時間におよぶ飲食、③マスクなしでの会話、④狭い空間での共同生活、⑤（仕事での休憩時間に入った時などの）居場所の切り替わり

【インフルエンザの発生動向】

- 11月16日～11月22日の発生状況は、全国では48例（去年同期9,107例）、県内では2例の報告がありました。